

内製化でコスト削減！

〒321-2345

栃木県日光市木和田島 1564-178

TEL 0288-26-6724

FAX 0288-26-6725

代表取締役 伊藤信行 様

取締役 工場長 野澤智一 様

取締役 営業部長 伊藤重喜 様

VJ-1617HJ をご使用



伊藤社長 (右) と伊藤営業部長



野澤工場長と VJ-1617HJ

Q. 導入のきっかけを教えてください。

当社はもともとプラスチックの材料から部品を加工する製造会社です。近年は単に部品を作るだけでなく、パネルにシルクスクリーン印刷 (外注) を施すことで付加価値を高めていました。昨年 (2014 年)、更に付加価値を高めるために UV 硬化型プリンタの導入を検討していたところ、取引業者から MUTOH を紹介されてデモを受けました。UV プリンタ (VJ-1626UH) と MP インクを使った VJ-1617HJ を見させて頂いてプラスチックへの印刷ではインクの密着性や後加工のし易さで VJ-1617HJ の方が優れていることがわかり、導入を決めました。

Q. 導入してみていかがですか。

VJ-1617HJ を購入したことで、プラスチックの加工だけでなく、様々な製品にプリントもできるようになりましたので、仕事の幅が広がりました。今では売上に大きく貢献しています。VJ-1617HJ だとデータを取りながら版を作る必要がありません。また、外注していた印刷を当社で内製化したため、輸送コストも削減することができました。更に、一度出力を開始したら、その場を離れても正確に稼働してくれるので別の仕事に取り掛かることができ仕事の効率も良くなりました。

Q. 改善して欲しい点がありますか。

改善というより要望ですが、アクリル板に対する最適なカラーチャートがあると便利だと思います。

Q. 価格やアフターサービスはいかがですか。

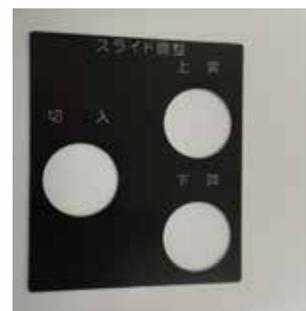
プリンタ本体だけでなく、RIP やサポートパックがセットになっていたのが高額だとは思いませんでした。初めてインクジェットプリンタを導入し不安でしたが、サポートダイヤルの担当者の方々に丁寧に対応して頂けるのでとても心強く感じています。



厚さ 0.5 ミリの透明塩ビシートに印刷



子どもたちが描いた絵をプラスチック板に印刷



プラスチック板に印刷